

## 岡 崎 市 文 化 財 指 定 調 書

1 種別、名称及び員数	天然記念物 愛知教育大学附属岡崎小学校のくすのき 1本
2 所在の場所	愛知県岡崎市六供町字八貫1-1
3 所有者又は保持者の住所及び氏名	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 国立大学法人 愛知教育大学
4 現状（品質、形状、構造、重量、大きさ、地積、範囲等）	<p>「愛知教育大学附属岡崎小学校のくすのき」は、明治34年（1901）に愛知教育大学附属岡崎小学校（旧愛知県第二師範学校附属小学校）が開校した直後に植えられた。昭和20年（1945）の岡崎空襲では、このクスノキが身を挺して延焼を防ぐ役割をしたと語り継がれている。校舎の増改築が繰り返される中、門から正面の位置に鎮座し、学校の歴史そのものであり、卒業生や地域住民にとって強さと優しさのシンボリック的存在としてあり続けてきた。</p> <p>このクスノキがある運動場南側の樹林は、子どもたちが通称「トトロの森」と呼んで、自然と親しむ場となっており、命の学びの中心的存在である。また、「くすのき学習」や「くすのきの日」と称した授業参観を行ったりするなど、「愛知教育大学附属岡崎小学校のくすのき」に関連する諸活動が活発である。</p> <p>平成25年に「愛知教育大学附属岡崎小学校のくすのき」が岡崎市のふるさとの名木として指定された。</p> <p>「愛知教育大学附属岡崎小学校のくすのき」は、推定樹齢120年以上である。樹高19.2m、枝張りは東西に10.2m、南北に12.0mで、樹高に比べて枝張りが大きく、枝葉が密についており、安定感のある極めて美しい樹形である。また、「くすのき学習」や「くすのき復活プロジェクト」といったクスノキを大切に思う諸活動が活発に行われ、自然保護意識高揚の波及効果に貢献している。これらの活動は、今後も継続発展が期待され、特に活用場の見本となる存在である。</p> <p>樹高19.2m、胸高直径1.7m、幹周り4.9m、枝張り東西10.2m、南北12.0m</p>
5 その他参考となる事項	小学校の敷地内に古くから存在する樹木を天然記念物として指定することで、児童に対しての自然保護意識の啓発や、文化財に対しての理解を深める一助となることが期待される。



位置



全景写真